



D-28

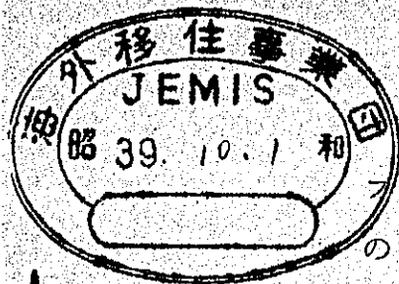
D-15

伯國 Karp's 農業傳統，中小企業進出口  
 與經濟生態系統分析

703  
 81  
 84  
 RARY

国際協力事業団

受入 月日	'84. 8. 21	703
		81
登録No.	13370	EM



ブラジル国における農業移住，中小企業進出  
の実態調査委託契約書

海外移住事業団理事長広岡謙二(以下甲という)はブラジル国における移住者，中小企業の実態調査に関し，日本学生海外移住連盟会長杉野忠夫(以下乙という)との間に以下の通り契約する。

第一条 甲は昭和38年11月1日から昭和39年1月31日迄の間，乙に下記内容の調査を委託する。

(一) 目的

日本人大学生をしてブラジル国企業及び移住植民地に於て実習せしめ将来の指導的人材の養成を計るとともにその体験を通じ日本民族の適性と発展の可能性を調査せしめ移住政策立案の資とする。

(二) 調査項目

- (イ) 移住地における農業加工の現状
- (ロ) 病虫害対策の現状と打開策
- (ハ) 熱帯樹木の利用価値の再検討
- (ニ) 欧米よりの中小企業進出と日本のそれとの比較
- (ホ) 販売ルートと組織運営の実態
- (ヘ) 工業技術者の独立の問題点

第二条 乙は前条の業務を完遂するため別紙Iの調査員を現地

JICA LIBRARY



1025336[7]

滞在中 3 ヶ月の予定で調査にあたらせる。

第三条 乙は第一条に定める調査内容の報告書を調査終了後すみやかに甲に提出しその説明を行なうものとする。

第四条 甲は第一条に定める委託調査業務の遂行に必要な経費として乙の請求に基き別紙Ⅱに定める 1,096,200 円の範囲内の金額を下記の費目により交付するものとする。

旅 費

- (1) 現 地 費 用
- (2) 現 地 交 通 費
- (3) 雑 費

第五条 乙は第四条の交付を受けた委託費についてはその出納を明らかにするためその受払いを帳簿に記入し、領収書その他受け払いの事実を証明する一切の証拠書類を何時でも提示できるよう整理保存するものとする。

第六条 乙は第四条による交付金を本契約期間満了とともに精算し余剰金を生じた場合はこれを速かに甲に返納するものとする。

第七条 甲は乙が第一条に定めた委託業務を正当の理由なく怠つたとき、又は第四条により交付した委託費を第一条に定める委託業務以外の用務に使用したときは委託費の全部又は一部の返還を命ずることができる。

第八条 乙は会計報告書を証拠書類とともに契約期間満了後30日以内に甲に提出しなければならない。

第九条 甲は必要ある場合には乙の業務遂行状況及び経理状況を甲の職員をして監査させることができる。

上記契約当事者双方合意の上同文3通を作成し、1通は外務大臣へ提出し、甲、乙各1通を所持する。

昭和38年10月21日

任 所 東京都港区赤坂田町7丁目1番地  
(信和ビル内)

甲 委託者 海外移住事業団  
理事長 広岡謙二

任 所 東京都港区赤坂田町7丁目1番地  
(信和ビル内)

乙 受託者 日本学生海外移住連盟  
会長 杉野忠夫

別紙Ⅰ

調査員

氏名 佐藤 雅 親 (団長)  
(トヨタ自動車)  
生年月日 昭和16年12月13日  
大 学 日本大学理工学部経営工学科 4年

氏名 大久保 正 孝 (副団長)  
(ジブラレ商事)  
生年月日 昭和16年3月16日  
大 学 神奈川大学法経学部貿易学科 4年

氏名 西 川 昌 弘 (トメアスー産組)  
生年月日 昭和17年1月15日  
大 学 大阪府立大学農学部園芸学科 3年





## 調査を必要とする理由

### (1) 移住地における農産加工の現状

アマゾン熱帯地特有の作物は全てよく生長するが、移住者が栽培する作物はそのうちでも需要が多く、商品価値の高いものでなくてはならない。アマゾン地域で有望と考えられる作物は下記の如く多種類に及び農産加工面の見通しさえつけば、移住地の栽培作物としてとりあげることができるものばかりである。これら農産加工については伯国側においても鋭意努力が続けられているが、これが実態の把握が行なわれていないのが現状である。農業指導面においても欠けるものがあり、かつ移住者組合における農産加工融資についても種々問題があるのであらゆる機会を利用し必要な調査を実施することは今後のアマゾン地域日本人移住者の発展につながるものである。

砂糖作物 = 甘蔗，砂糖椰子

香辛 " = バニラ，クマルー，肉桂，肉豆蔻，胡椒

嗜好 " = コーヒー，カカオ，ガラナ，煙草

果物 " = 柑橘類，バナナ，パインアップル，アボガド

油料 " = 油椰子類，パラ栗

染料 " = ウルクー，クルクマ

薬用作物＝吐根，トバ，コパイバ

樹脂＃＝各種ゴム類，サボチリア

澱粉＃＝マンジヨカ，サゴ椰子

繊維＃＝ジユート，ラミー，サイザール，

アルバ麻，ローゼル

#### (ロ) 病虫害対策の現状と打開策

従来の南米奥地農業は焼畑農業が一般的であるが，このような栽培方法では作物は病虫害に侵される事が多く，商品価値の高い収穫物は期待できず，労多くして利益の少ない農業経営が行なわれてきた。加えて一部移住地には病虫害の発生が顕著となり，商品価値を高める意味も含めて病虫害対策は移住者よりも強く要望されているのが現況である。営農改善の一手段としての病虫害対策は旧来農法から脱却するための必要手段としてこの結果が期待される。

#### (ハ) 熱帯樹木の利用価値の再検討

広大なアマゾン地域の大部分はうつそうたる人跡未踏の樹海におよわれており，この中には熱帯の有用材は160種にも及び，その用途は土木，建築，造船，鉄道枕木，高級家具合板等の他製紙パルプ原料として充分利用できるものが多く世界の宝庫の観を呈している。特にアマゾン産木の材の特徴は熱帯特有の貴重なマホガニー系の硬木が多いことがある。

従来、移住者はこれらの有用材を活用することなく、そのまま山焼きを行う傾向があり爾後の家屋建築等の資材にも不自由をきたす場合も往々あるので有用材の再認識は勿論、今後の有用材活用の方途を講ずる資材を整備し移住者に対し啓蒙する要がある。

## (二) 欧米よりの中小企業進出と日本の中小企業進出との比較

ブラジルの工業は第二次大戦を境にしてその発展は著しい。この国はもともとヨーロッパからの移住により建設されたという歴史的背景もありヨーロッパ系の資本及び企業の進出がめざましい。アメリカは欧州諸国に少しおくれて企業進出を始めたが、ドルにものをいわせ、大戦中戦後にかけて資本投下及び企業進出はめざましいものがある。

我が国はこの国際競争のバスに乗り遅れた感があるが、日系コロニアの基礎の上に30数社の会社が進出し、除々にその実績を上げつつある。

- ① サンパウロ州，グアナバラ州はブラジル工業の中心でブラジル国工業の約6-7割を占めていること。
- ② リオ・デ・ジャネイロ市，サンパウロ市というブラジル最大の都市をひかえ市場の観点からみても，企業進出に最適であること。

これら各国企業の特徴，規模，賃金及び労働条件，市場問題

各国政府援助の状態等の資料を蒐集，あるいは調査し，現状を認識することによりこれからの進出企業の方角，有望企業進出の発見，我国からの技術移住推進の資としたい。

#### ㈣ 販売ルートと組織運営の実態

戦後のブラジル国の工業の急速な発展に伴ない，商業の発達も著しいものがある。サンパウロ市，リオ・デ・ジャネイロ市周辺に於て特に目ざましい。商業に関しては欧米先進国と比較できる段階に達している面も多いが反面，非常に多くの問題点があり，インフレとからみあつて種々の困難にぶつかっているのが現状である。日系商社も数多くサンパウロ市リオ市に進出しており，日本経済の一つのささえになつているが，その商業活動には種々の問題があるのも事實である。ブラジル商業の特殊性の一つは，ベンデドール制であり，これは地域的に広大な郊外農業経営者と都市の商工業者の間を結ぶ仲買人制度である。奥地の開拓農業者や入植地に都市商品を運搬し，商活動の一大中心として重きをなしているが，流通機構上の問題もある。ブラジル国には物品販売税というものがあり，商品流通の過程で多くの税金が課され，販売価格が非常に高くなつてしまう。日系商社，企業についても同様の困難があるのは当然で日本商品と日系コロニアとの結びつき日系商人のブラジル商業，工業界に占める位置を調査し

流通機構上，会社運営上の問題点をさぐる事は，日系農業従事者，日系兩社企業は勿論，今後の日本人移住者の利益増進にも役立つものである。同時にこの調査はブラジル国経済活動に貢献するものと考える。

#### (ハ) 工業技術者の独立の問題

ブラジルの工業化は，その発展が著しいといいながら，歴史は新しく，その発展に見合う技術者の養成は需要をみたすまでに至っていない。従つて現状に於いては SENAI（ブラジル国立職業訓練所）等を通じ技術者の養成に力を入れる一方，外国より技術者を受け入れ，その不足を補なつている。日本からの技術移住者はまだ日が浅いが，サンパウロ市を中心に近郊の工業都市へ次第に増加の傾向にある。技術移住は当初サラリーマン移住であるが，渡航者の大半は将来，自己の能力を生かし独立したいという希望を持つている。農業のように土地と若干の資金があれば，独立出来るというようなものではないが，ブラジルの工業はまだ少年期にある関係もあり，相当アンバランスの発展をしており，その谷間をぬつて独立することは可能性がある。従つて諸外国よりの移住者の各種条件（就職先，携行資金，技能）の例及び我国よりの移住者の各種条件，企業との結びつき，独立しようとする者に対する融資の問題等を調査することにより今後技術移住推

進の資としたい。

## 調 査 細 目

### (イ) 移住地に於ける農産加工の現状

#### 1. 調査対象地域

ブラジル国パラ州ベレン市近郊

#### 2. 調査対象

永年作物及び短期作物

#### 3. 調査細目

- ① 農産加工を必要とする農産物の種類調査
- ② 農産加工の現状
- ③ 農産加工の将来性
- ④ 農産加工過程に於ける必要条件
- ⑤ 農産加工物の市場性及び現状とその将来性

### (ロ) 病虫害対策の現状と打開策

#### 1. 調査対象地域

ブラジル国パラ州トメアスー入植地，パラ州ジュルチイ  
オビドス，サンターレン地区

#### 2. 調査細目

- ① 各地域に於ける病虫害の有無
- ② 病虫害対策の現状
- ③ 自然条件と病虫害の相関関係

- ㊟ 病虫害の種類
- ㊦ 使用薬品と防疫対策
- ㊧ 病虫害に対する農場管理の現状
- ㊨ ピメンタの根腐病に対する対策

(イ) 熱帯樹木の利用価値の再検討

1. 調査対象地域

ブラジル国パラ州第2トメアスー入植地

2. 調査対象

熱帯樹木の有用木材

3. 調査細目

- ㊱ アマゾン地域の有用木材の分布状態
- ㊲ 第2トメアスー植民地に於ける有用木材の種類
- ㊳ 邦人の有用木材利用の現状  
(運搬方法, 製材, 用途)
- ㊴ 熱帯樹木の商品価値及び市場の現状とその将来性

(ロ) 欧米よりの中小企業進出と日本の中小企業進出との比較

1. 調査対象地域

ブラジル国サンパウロ州, リオデジャネイロ州

2. 調査対象

ヨーロッパ諸国, 米国及び日本からの進出企業

3. 調査細目

- ① 進出企業の業種別分類
- ② 資本金額，生産額による比較
- ③ 雇用条件，労働状態の比較
- ④ 販売方法の比較
- ⑤ 利潤送金方法とその代替手段の比較
- ⑥ 送出国政府の援助状態
- ⑦ 有望企業進出の発見

(付) 販売ルートと組織運営の実態

1. 調査対象地域

ブラジル国サンパウロ州，リオデジヤネイロ州

2. 調査対象

- ① 日本商社
- ② チェーンストア組織
- ③ ベンデドール制度

3. 調査細目

- ① 日系商社及び企業の販売ルート
- ② 日系コロニアと日本商品の結びつき
- ③ 日系企業に於ける日系人のしめる位置
- ④ カーザス，ペルナングカーナス，プリ等のチェーンストア組織の運営方法
- ⑤ ブラジル国ベンデドール組織とその運営の実態

㊦ 日系人ベンデドール組織とその運営の実態

㊧ 工業技術者の独立の問題

1. 調査対象地域

ブラジル国サンパウロ州

2. 調査対象

ヨーロッパ諸国及び日本からの技術移住者

3. 調査細目

- ㊦ 日本人移住者の受入先調査
- ㊧ ヨーロッパ諸国からの移住者受入先調査
- ㊨ 移住者の定着性
- ㊩ 移住者の携行資金
- ㊪ 移住者の技術者資格獲得
- ㊫ 移住者と中小企業の結び付きの現状と可能性

㊬ 以上の調査項目に関する文献資料蒐集は下記の機関より行う。

(イ)(ロ)(ハ)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. ベレン農業試験場  | 2. モンテアレグレ種苗園 |
| 3. アマゾン経済開発庁 | 4. パンアマゾン協会   |
| 5. ベレン農科大学   | 6. トメアスー産業組合  |

(ニ)(ホ)(ヘ)

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. サンパウロ商工会議所 | 2. ブラジル経済研究所 |
|---------------|--------------|

3. 日本文化協会
4. サンパウロ大学
5. サンパウロ工科大学
6. I.E.P.E
7. I.B.G.E
8. 外国政府出先機関

以上



## 調査結果利用について

調査項目	支部・課	利用法
(イ) ベレーン市近郊移住地に於ける農産加工の現状	ベレーン支部 ブラジル課 貸付課	営農指導に関する資料として 融資対策に関する資料として
(ロ) 病虫害対策の現状と打開策	ベレーン支部 ブラジル課	営農指導に関する資料として
(ハ) 熱帯樹木の利用価値の再検討	ベレーン支部 ブラジル課	営農及び生活指導に関する資料として
(ニ) 欧米よりの中小企業進出と日本の中小企業進出との比較	サンパウロ支部 技術移住課	企業移住に関する資料として
(ホ) 販売ルートと組織運営の実態	サンパウロ支部 ブラジル課 調査課	ブラジルの商業事情に関する資料として
(ヘ) 工業技術者の独立の問題	サンパウロ支部 技術移住課	技術移住推進に関する資料として

